

秒

三年 画数 9
筆順 利秒秒
オン ビヨウ
クン

成り立ち



稲がみのつて穂がたれてる形をあらわした「禾」と「わずか」といういみの「少」とを組み合わせて作った字で、「稲の穂先のほそい」とげ（のぎ）をあらわした字です。「のぎ」がとても小さいことから、「とても小さなもの」といういみにつかわれ、今では、「とてもわずかな時間」といういみから、「いちばんわずかな時間の「たんい」をあらわす名前」につかわれるようになりました。【例】寸秒→一秒（二時間の三百六十分の一）。また、「かくど」の「たんい」をあらわす名前としてもつかわれています。一どの三百六十分の一が「一秒」です。

使い方

▽一刻一秒を争う、というような救急患者が、毎日のように病院に運び込まれます。お医者さんというのは、本当に大変なことです。
▽船は、一秒のくるいもなく、真北をめざして航海を続けました。

熟語例

▽寸秒（ごくわずかの時間。「列車は、寸秒たがわず東京駅に着きました」などというふうには、つかいません。）
▽秒針（時計で、秒を表す針。「このごろ、秒針のある時計がすくなくなつた」などというふうには、つかいません。）
▽秒速（一秒あたりに進む速さ。「秒速三十メートルの強い風」などというふうには、つかいません。）
▽秒読み（秒単位で、かかる時間を読みあげること。「ロケットうちあげの秒読みが、開始された」などというふうには、つかいません。）

病

三年 画数 10
筆順 一广疒疒疒病
オン ビヨウ・ヘイ
クン やいむ・やまい

成り立ち



ベッドの形をあらわした「疒」と、人のねた形をあらわした「疒」とを組み合わせた「疒」は、「病氣」のいみをあらわすので「病だれ」といいます（「疒」のような形を「たれ」といいます。「疒」は「雁だれ」といい「疒」は「麻だれ」といいます。）

病は、病氣のいみの「疒」と、いきおいの強いいみの「丙」とを組み合わせて作った字で、「重い病氣」といういみで作られた字ですが、今は、ただ「病氣」といういみにつかわれています。

「ビヨウは呉音、ヘイは漢音。熟語の多くは呉音で読まれる。」

使い方

▽むかしは胸を病んで、なくなった人が多勢いました。今は良い治療法が発見されたので、胸の病で死ぬ人は少なくなりました。
▽「病は氣から」ということばがあります。気で病む人も多勢いるようです。いつも、明るい気持ちしていると、病氣にはかかりにくいと思います。

熟語例

▽病人（病氣の人。「あまり騒ぐと病人の体にさわるから、静かにしていらつしやい」などというふうには、つかいません。）
▽病状（病氣の状態。「医師に病状をきかれたので、熱があつて頭が痛い」と答えた」などというふうには、つかいません。）
▽病名（病氣の名前。「病名は、急性虫垂炎だそうだ」などというふうには、つかいません。）
▽看病（病人の世話をみること。「おかあさんが看病疲れて、倒れてしまった」などと、つかいません。）
▽疾病（病氣のこと。「疾病の中でも、がん、心臓病などでなくなる人が多い」などと、つかいません。）